

第 6 期

名寄市障がい福祉実施計画

～自立と共生の地域社会づくり～

(令和3年度～令和5年度)

(令和3・4年度)の2年間の
本計画の進捗状況を報告します。



名 寄 市

第3

計画推進のための基本的事項

1. 計画推進の基本方針

1) 地域生活支援拠点の整備

障がい者の高齢化・重度化や親亡き後も見据え、障がいのある子どもや障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組み（地域生活支援拠点）を整備していきます。

<計画の進捗状況の報告①>

- ・地域生活支援拠点の整備について、継続的に話し合いをしています。

2) 地域生活への移行促進

障がい者の意向を尊重した地域生活への移行を進めるため、具体的な目標数値を定めて、取り組みを進めていきます。

① 福祉施設の入所者の地域生活への移行促進

住み慣れた地域で生活していく環境づくりを進めるため、在宅生活を基本とした地域の基盤整備を市内の事業所等と連携して行い、共同生活援助（グループホーム）等の整備促進を図り、地域移行がスムーズに行える取り組みを推進します。

また、単身等で生活する障がい者に対し、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行える取り組みを推進します。

<計画の進捗状況の報告②>

- ・市内の民間の福祉施設と連携し、グループホームの整備に努めており、直近では令和4年11月に新たに整備が完了しました。（現在、計23ヶ所）。

今後も、市内の福祉施設と連携し、整備に努めていきます。

また、緊急時に福祉施設（短期入所の部屋）で宿泊することができる「安心生活支援事業」を行っています。（実績はなし）

② 入院中の退院可能な精神障がい者の地域生活への移行促進

病院に長期入院している精神障がい者が、地域生活の体験等を通して地域移行ができるよう取り組みを推進します。

<計画の進捗状況の報告③>

・名寄市立総合病院や市内の相談支援事業所と連携し、入院している精神障がい者の地域生活への移行の支援に努めました。

※ 長期入院の方への支援（地域移行支援）：令和3年3名、令和4年3名

3) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障がい者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障がい福祉、介護、住まい、社会参加（就労）、地域の連携や助け合いについて、計画的に推進していきます。

<計画の進捗状況の報告④>

- ・名寄市障害者自立支援協議会など、継続的に話し合いを行っています。
- ・地域移行の会議に出席するなど、情報収集や関係機関との情報交換に努めました。

4) 福祉施設から一般就労への移行

地域において自立した生活を営むため、それぞれの意欲や能力に応じて働くことができるよう、就労移行支援事業所などの取り組みを強化するとともに、公共職業安定所（ハローワーク）やNPO法人なよろ地方職親会等と連携し、ジョブコーチのノウハウの活用により雇用の推進を図ります。

また、障がいに対する理解を深めるための取り組みや、障がい者雇用に係る助成・支援制度の普及に向けた啓発等に取り組んでいき、就労の定着支援を行い、障がい者が安定して働き続けられる環境整備を進めていきます。

<計画の進捗状況の報告⑤>

・名寄市障害者自立支援協議会で、一般就労への移行を進めるための取り組み（しごと講座、なよろジョブコーチ等）を行なっています。

5) 障害児通所支援等の地域支援体制の整備

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育等の利用状況を考慮し、児童発達支援等の障がい福祉サービス、児童福祉法に基づく障がい児支援等の専門的な支援の確保に努めます。

共生社会の形成促進の観点から、教育・保育等とともに連携を図った上で、乳幼児期から学校卒業までの一貫した支援を行ない、地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するために、児童発達支援センターによる保育所等訪問支援を利用できる体制を構築していきます。

また、重症心身障がい児など医療的ケアが必要な障がい児に対する支援の基盤整備強化、福祉、医療、保育、教育などの協働による総合的な支援体制の構築に努めていきます。

<計画の進捗状況の報告⑥>

障がいのある児童等に対し、保育所等訪問支援を実施し、集団生活に適應するための専門的支援を行いました。

6) 相談支援体制の充実・強化

障がい児・者が地域で自立した生活を営むために必要な地域の相談支援体制の整備に努めています。

また、計画相談（サービス等利用計画）についても、利用者の状態や希望を勘案し、一貫性を持った障害福祉サービス等が提供されるよう総合的な支援を行なうとともに、利用者の生活状況を定期的に確認の上、必要に応じた見直しを行なっています。

今後、地域の相談支援事業者に対する専門的な指導助言、人材育成支援、連携強化の取組体制を確保します。

<計画の進捗状況の報告⑦>

・参加した相談支援の職員が、講師と個別に面談をして、意見交換をする中で、障がい者の計画相談（サービス等利用計画）や、障がい者の相談支援業務に対して気づきを促すという取り組みを行いました。

7) 障害福祉サービス等の質の向上を図るための取組に係る体制の構築

利用者が真に必要とする障害福祉サービス等を提供していくための取り組みとして、相談支援従事者研修等の各種研修について積極的に参加していきます。

また、職員の支援の質の向上を図るために、福祉施設の職員向けの研修等を実施し障害福祉サービス等の質の向上を図ります。

<計画の進捗状況の報告⑧>

- ・相談支援従事者研修等の各種研修の受講。
- ・R3年度は、令和4年4月1日「改正個人情報保護法」の施行に伴ない、個人情報に関する知識や取り扱いについての「職員勉強会」を開催。

R4年度は、相談支援に関するスキル向上及び他機関のネットワーク構築を目的に「スーパービジョンに関する研修会」や「ひきこもりに関する研修会」「支援者向けスキルアップ研修会」を開催しました。

2. 令和3年度～令和5年度の数値目標

1) 基本的な考え方

障がい者の自立を支援するため、地域生活への移行や就労支援については、国及び北海道から示される指針に基づき地域実情を十分踏まえ、必要なサービス量を見込みます。

2) 福祉施設入所者の地域生活への移行目標

共同生活援助（グループホーム）の整備・充実を図るとともに、自立訓練事業等の推進により、福祉施設入所から地域生活への移行を進めます。

区 分	第 5 期		第 6 期	
	移 行 目 標 (平成 30～令和 2年度)	移行達成目標 (平成 30～令和 2年度)	移 行 目 標 (令和 3～5年度)	移行達成目標 (令和 3～5年度)
地域生活移行数	3人	1人	2人	5人
入所定員減少見込数	2人	0人	1人	0人

3) 福祉施設から一般就労への移行目標

就労の場を拡大するため、公共職業安定所やNPO法人なよろ地方職親会等の事業主の理解と協力を得ながらネットワーク化を促進し、福祉施設から一般就労への移行を進めます。

区 分	第 5 期		第 6 期	
	移 行 目 標 (平成 30～令和 2年度)	移行達成目標 (平成 30～令和 2年度)	移 行 目 標 (令和 3～5年度)	移行達成目標 (令和 3～5年度)
年間一般就労移行者数	9人	25人	10人	20人

4) 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築

地域移行支援や地域定着支援等の福祉サービスを活用するとともに、基幹相談支援センターぽっけを中心としたネットワークで、きめ細やかな対応をしていきます。

5) 障がい児支援の提供体制の整備等

保育所等訪問支援を利用できる体制については、今後も引き続き検討をしていきます。

また、医療的ケアが必要な障がい児に対して、個別の教育支援計画（すくらむ）や計画相談などのツールを用いて、保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関等で連携を図っていきます。

<計画の進捗状況の報告⑨>

- ・令和元年から、こども発達支援センターの相談の部門が、基幹相談支援センターぽっけに加わり、相談窓口を一本化しています。
- ・保育所等訪問支援を実施し、障がいのある児童に対し、専門支援を行っています。

2. サービスごとの利用量の見込みと提供体制

1) 訪問系・日中活動系・居住系サービス

①訪問系サービス

【サービス見込量】

1. 居宅介護

(単位：時間、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用時間	計画	230	240	250	340	380	420	230	230	230
	実績	196	166	290	225	207	230	188	180	
	進捗	85.2	69.2	116.0	66.1	54.5	54.8	81.7	78.3	

2. 重度訪問介護

(単位：時間、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用時間	計画	240	240	240	150	150	150	240	240	240
	実績	80	7	0	0	0	0	893	1,488	
	進捗	33.3	2.9	0	0	0	0	372.1	620.0	

②日中活動系サービス

【サービス見込量】

1. 生活介護

(単位：人、%)

区分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	2,376	2,420	2,464	2,490	2,530	2,574	117 2,340	119 2,380	121 2,420
	実績	2,473	2,470	2,508	2,530	2,574	2,574	116 2,320	114 2,280	
	進捗	104.1	102.1	101.8	101.6	101.7	100.0	99.1	95.7	

※単位：「人」＝（月間の利用人員）×（R2年度までは、1ヵ月あたりの平均利用日数22日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数20日）

2. 自立訓練（生活訓練）

(単位：人、%)

区分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	352	352	352	154	176	198	7 133	8 152	9 171
	実績	88	95	110	169	174	154	4 76	5 95	
	進捗	25.0	27.0	31.3	110	98.9	77.8	57.1	62.5	

※単位：「人」＝（月間の利用人員）×（R2年度までは、1ヵ月あたりの平均利用日数22日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数19日）

3. 宿泊型自立訓練

(単位：人、%)

区分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	279	310	341	155	186	217	5 150	6 180	7 210
	実績	186	140	110	130	152	155	4 120	7 210	
	進捗	66.7	45.2	32.2	84	81.7	71.4	80	116.7	

※単位：「人」＝（月間の利用人員）×（R2年度までは、1ヵ月あたりの平均利用日数31日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数30日）

4. 就労移行支援

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	198	220	242	365	380	395	14 238	15 255	16 272
	実績	207	345	352	326	260	308	6 102	2 34	
	進捗	104.5	156.8	145.5	116.7	68.4	78.0	42.8	13.3	

※単位：「人」＝（月間の利用人員）×（R2年度までは、1ヵ月あたりの平均利用日数22日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数17日）

5. 就労継続支援A型

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	528	550	572	506	550	594	5 105	7 147	9 189
	実績	482	396	418	161	134	110	4 84	5 105	
	進捗	91.3	72.0	73.1	31.7	24.4	18.5	80	71.4	

※単位：「人」＝（R2年度までは、実利用者数×22日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数21日）

6. 就労継続支援B型

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	1,738	1,760	1,782	1,826	1,870	1,914	98 1,764	100 1,800	102 1,836
	実績	1,670	1,700	1,716	1,811	1,879	2,156	101 1,818	112 2,016	
	進捗	96.1	96.6	96.3	100.8	100.5	112.6	103.1	112.0	

※単位：「人」＝（R2年度までは、実利用者数×22日）

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝（月間の利用人員）×（1ヵ月あたりの平均利用日数18日）

7. 療養介護

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	23	23	23	21	21	21	18	18	18
	実績	22	21	21	20	17	18	16	15	
	進捗	95.7	91.3	91.3	95	81	85.7	88.9	83.3	

8. 児童発達支援、放課後等デイサービス

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月利用者数	計画	256	268	280	380	398	416	68	71	74
								474	489	504
	実績	257	243	228	258	277	272	70	72	
								438	456	
	進捗	100.4	90.7	81.4	68.7	69.6	65.4	102.9	101.4	
								92.4	93.3	

※単位：「人」＝(R2年度までは、利用人員×平均利用日数4日)

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用人数＝(児童発達支援：利用人員×平均利用日数3日)

＋(放課後等デイサービス：利用人員×平均利用日数9日)

※実績の欄の上段の数字は「児童発達支援の実績」、下段の数字は「放課後等デイサービスの実績」

9. 短期入所(ショートステイ)

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月利用者数	計画	112	120	128	56	64	72	5	6	7
								65	78	91
	実績	64	46	56	53	29	40	6	5	
								78	65	
	進捗	57.1	38.3	43.8	94.6	45.3	55.6	120	83.3	

※単位：「人」＝(R2年度までは、利用人員×平均利用日数8日)

※第6期計画より

上段：月間利用実人数

下段：1ヶ月利用者数＝(月間の利用人員)×(1ヵ月あたりの平均利用日数13日)

10. 就労定着支援

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月利用者数	計画							1	1	1
	実績							0	0	
	進捗							0	0	

③居住系サービス

【サービス見込量】

施設入所支援

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用者数	計画	77	77	77	76	76	76	74	74	74
	実績	78	79	77	77	76	74	75	71	
	進捗	101.3	102.6	100	101.3	100	97.4	101.4	95.9	

共同生活援助（グループホーム）

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用者数	計画	66	73	80	85	91	97	91	97	103
	実績	65	70	77	80	82	91	89	93	
	進捗	98.5	95.9	96.3	94.1	90.1	93.8	97.8	95.9	

自立生活援助

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用者数	計画							1	1	1
	実績							0	0	
	進捗							0	0	

2) 地域生活支援事業

【サービス見込量】

相談支援（特定相談支援）

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間 サービス 利用計画 作成者数	計画	20	20	20	20	20	20	30	30	30
	実績	27	46	33	53	49	32	8	8	
	進捗	135.0	230.0	165.0	265	245	160	26.7	26.7	

相談支援（特定相談支援）

（単位：箇所、％）

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
指定 事業所数	計画	4	4	4	5	5	5	4	4	4
	実績	4	5	5	5	4	4	4	4	
	進捗	100.0	125.0	125.0	100	80	80	100	100	

コミュニケーション支援事業（手話通訳など）

（単位：人、％）

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間 実利用 人数	計画	5	5	5	4	4	4	5	5	5
	実績	4	5	4	5	5	5	5	5	
	進捗	80.0	100.0	80.0	125	125	125	100	100	

日常生活用具給付事業

（単位：件、％）

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間 利用件数	計画	770	770	770	900	925	950	900	905	910
	実績	851	876	936	861	894	888	909	1,002	
	進捗	110.5	113.8	121.5	95.6	96.6	93.4	101.0	110.7	

移動支援事業

（単位：人、％）

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間 利用人数	計画	25	25	25	25	25	25	5	5	5
	実績	24	24	24	15	5	5	2	2	
	進捗	96.0	96.0	96.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	

地域活動支援センター

（単位：人、％）

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用人数	計画	75	75	75	80	80	80	30	30	30
	実績	81	71	73	56	47	50	68	86	
	進捗	108.0	94.7	97.3	70.0	59.0	62.5	226.6	286.7	

※単位：「人」＝（R2年度までは、1ヶ月利用人数）

※単位：「人」＝（R3年度からは、実利用見込み者数）

日中一時支援事業

(単位：人、%)

区 分		第4期計画			第5期計画			第6期計画		
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1ヶ月 利用人数	計画	15	15	15	15	15	15	25	25	25
	実績	10	9	12	25	24	24	10	10	
	進捗	66.7	66.7	80.0	166	160	160	40.0	40.0	

第5

計画推進のための具体的な取組

1. 障がい者理解の促進・権利擁護

障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるような地域社会を実現するには、地域住民の理解や協力を得ることが不可欠ですので、障がいに対する理解が深まっていくように、啓発活動に努めるとともに、障がいに関する適切な情報提供も行います。

また、障がい者の方々の権利擁護の取り組みを進め、差別や偏見のない社会の実現を目指します。

<計画の進捗状況の報告⑩>

- ・令和3年度、「ひきこもり」をテーマに障がいに対する理解促進のための研修会を開催しました。
- ・障がい者の制作した美術品を展示する「アール・ブリュット展」を行いました。

2. 障がい福祉サービスの充実

1) 相談支援体制の強化

障がい者が地域で安心して生活を営むためには、自分に合った障がい福祉サービスを利用するための相談支援を行う必要があり、現在、市役所内の基幹相談支援センターぽっけと、市内の相談支援事業所3ヶ所の計4ヶ所を中心にして、相談支援を行っています。

様々な事例への対応につきましては、名寄市障害者自立支援協議会で協議を行うようにしており、特に権利擁護の相談については、市内の相談支援に関わる関係者と連携・協力して取り組むようにします。

今後につきましても、基幹相談支援センターぽっけを中心としながら、地域の相談支援体制の強化に向けて、取り組みを進めていきます。

<計画の進捗状況の報告⑪>

- ・相談支援専門員が、講師と個別に面談して、意見交換をする中で、障がい者の計画や障がい者の相談支援業務に対して気づきを促す取り組みを行いました。
- ・自立支援協議会内で事例検討を行うようにし、様々な事例への対応についての情報共有や意見交換に努めました。

2) グループホームの整備

障がい者が社会で活動できる環境を整えるため、今後も地域での居住の場となるグループホームの整備について、事業所等と連携し、計画的に進めていきます。

3) 社会参加の促進

障がい者のスポーツ活動やレクリエーション活動への参加の機会を拡大し、交流促進を図るとともに、芸術・文化活動等から社会参加への意識を高め、コミュニケーションを確保するため、手話通訳者、要約筆記通訳者等の養成や派遣に取り組んでいきます。

<計画の進捗状況の報告⑫>

- 手話奉仕員養成講座の開催、手話通訳者、要約筆記通訳者の派遣に取り組みました。
- 名寄市社会福祉協議会主催の「市民ポッチャ交流大会」に共催として、障がいや世代に関わらず、あらゆる市民の地域参加やつながりづくりを進めています。

3. 就労支援の充実

障がい者の雇用を促進するため、名寄市障害者自立支援協議会を中心にして、ハローワークや就業・生活支援センター等の関係機関と連携しながら、就労機会の拡充を図ります。

また、就労移行支援事業等から一般就労へのステップアップが、より進んでいくように努めます。

4. 生活環境等整備の充実

市民一人ひとりが快適な生活を送れるよう、公共建築物をはじめ、民間の建築物についても、事業所等の協力を得ながらバリアフリー化に努め、障がい者や高齢者が街中でふれあうことができる、やさしいまちづくりを推進していきます。

また、災害時に備えた防災や援護体制の整備を進めるとともに、関係機関との連携強化を図るとともに、障がい者が生きがいづくりのため、スポーツやレクリエーションに参加できるよう機会の充実に努めます。

<計画の進捗状況の報告⑬>

- 災害時の避難確保計画作成に向けて、名寄市防災担当と連携していきます。

5. 障がい児の支援の充実

乳幼児から学齢期、学校卒業後の就労や地域生活といったライフサイクル全体を通じて支援が途切れないよう、「つなぎの支援」を行っていきます。

保育所や認定こども園、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）等における障がい児の受入れの際に必要な調整・協力を行っていきます。

また、重症心身障がい児・者の自立と社会参加を支援するため、個別の教育支援計画（すくらむ）や計画相談などのツールを用いて、関係部署、関係機関と連携して取り組みを進めていきます。

<計画の進捗状況の報告⑭>

- 「名寄市特別支援連絡協議会」や「名寄地域子ども発達支援推進連絡協議会」等に委員として参画し、連携を図りながら支援の充実に向けた課題の検討等を行いました。
- 地域の医療・保健・教育・保育・障害福祉サービス事業者など関係機関と連携を図り、障がい児が地域で生活できるよう支援に取り組んでいます。